

令和4年10月14日

保護者各位

鳥栖市立基里中学校
校長 牟田 美弥子

令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和4年度全国学力・学習状況調査について

令和4年4月19日、下記のような内容で全国一斉に中学校3年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

| |
|---|
| (1) 教科に関する調査（国語、数学、理科） |
| ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 |
| ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等 |
| 調査問題では、①と②が一体的に問われています。 |
| (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査 |
| 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。 |

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校生徒の姿

(1) 国語について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・すべての評価の観点において、全国の正答率を下回っていました。その中でも「読むこと」については、全国平均正答率を大きく下回っており課題が見られました。
- ・「文脈に即して漢字を正しく書く」については、全国の平均正答率を下回ってはいるものの、正答率が80%を超え、定着している生徒が多く見られました。
- ・記述式の問題に対しては、全国平均正答率を大きく下回り、課題が見られました。

(2) 数学について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を若干下回っていました。
- ・評価の観点において、一つの観点については、全国の平均正答率を上回っていましたが、「知識・技能」の観点については、全国の平均正答率を下回っており課題が見られました。
- ・領域別にみると、「図形」・「関数」・「データの活用」の3領域については、全国の平均正答率を上回っていましたが、「数と式」の領域は、全国の平均正答率を下回っており課題が見られました。
- ・「式の意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる」かの問題については、全国の平均正答率を大きく上回っていましたが、

(3) 理科について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を上回っていましたが、
- ・すべての観点において、全国の平均正答率を上回っていましたが、

- ・領域別にみると「エネルギー」「粒子」を柱とする領域では、全国の平均正答率を大きく上回っていましたが、「生命」「地球」を柱とする領域では、全国の平均正答率を下回っていて課題がみられました。
- ・「岩石に関する知識及び技能を活用できる」と「実験の結果を分析して解釈し、課題に正対した考察する」の項目は、大きく全国の平均正答率を下回っており課題が見られました。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校児童の姿

- ・「朝食」については、本校は85.7%の生徒が毎日食べていると回答しており、全国平均より5.8%上回っていました。
- ・「起床時間」についても、いつも同じ時間に起きていると回答した本校生徒の割合は77.1%と全国平均より20.3%も上回っていました。
- ・「地域の行事への参加」については、参加していると回答した本校生徒の割合は48.5%と全国平均より8.5%も上回っていました。
- ・平日の一日当たりのゲームの時間について3時間以上行っている本校生徒の割合は、34.3%と全国平均より4.5%高い結果となり課題が見られました。
- ・平日の一日当たりの勉強時間について1時間以上行っている本校生徒の割合は、51.4%と全国平均より18.1%低い結果となり課題が見られました。

4 今後の改善策（生徒の力をさらに伸ばすために）

- ・今回の学習状況調査の結果をもとに、小テストや課題テストの内容を改良し、課題として表れている基礎・基本の定着を図ります。
- ・各教科において、電子黒板やタブレット等を活用して内容を視覚的に捉えさせる等の授業のユニバーサルデザイン化に、より一層取り組みます。
- ・各教科において、話し合い活動や学びあい活動を積極的に取り入れ、他者の考えを読みとる力や自分の考えを表現する力の育成を図ります。

- ・家庭でも次のようなことに心がけてください。

1 家庭学習の環境について

- ◎学習する時間や時間帯を自分で計画し実行していくことで、学習習慣を身に付けさせ家庭学習時間を増やしていきましょう。
- ◎テレビを見る時間やゲームをする時間を決め、長時間にならないようにしましょう。
- ◎今まで行ったテスト問題の復習を中心とした自主学習に取り組ませましょう。

2 生活習慣について

- ◎「朝食」や「起床時間」などの基本的な生活習慣は身につけている生徒が多く見られますので、これを継続していきましょう。
- ◎読解力の向上のためにも読書の時間も生活の一部に組み込みましょう。
- ◎お子さんががんばったことや良くできたことを、積極的にほめましょう。